

大学院研究室だより

平成21年度 論文博士・修士論文題目と執筆者氏名

論文博士

博士論文

Applicative and Little Verbs: In View of Possessor Raising
and Benefactive Constructions 大倉 直子

博士前期課程

英語学専攻

修士論文

Reading versus Telling of Stories in the Development of English
Vocabulary and Comprehension in Young Second Language Learners
..... 内山 工

修士研究報告

Effects of Oral Reading on Japanese Learners of English
in a Junior High School 大木 文子

日本語学専攻

修士論文

第二言語語彙学習におけるタスクタイプと繰り返しの効果
－日本語の中級・中上級学習者を対象に－ 田所 直子

基本動詞の多義的な意味の習得に日本語習熟度と滞日期間が与える
影響について －中国人と韓国人を対象に－ 林 秀

中国語を母語とする上級日本語学習者による語りの
テンス形式ruの認識について 李 雷

日本語学習者を対象としたリスニングにおけるプレタスクの効果
ーディスカッションと語彙学習の比較を通してー 松本 陽子

修士研究報告

日本の看護師国家試験問題の言語的分析
ー日本語能力試験出題基準との比較を通してー 齋藤 隆

「言語科学研究センター」(Center for Language Sciences: CLS)

CLS では、大学院の教員および CLS 研究員の公的資金による研究プロジェクトを様々な形で支援しています。平成21年度には、昨年度（以前）から継続のプロジェクトに加え、新たに2つのプロジェクトが発足し、活発な研究活動を行っています。

<新規プロジェクト>

- ・『談話のカートグラフィー研究：主文現象と複文現象の統合を目指して』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究（B））研究代表者：遠藤喜雄、研究分担者：長谷川信子（2009年4月～2012年3月）
- ・『首都圏方言の実態に関する基礎的研究』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究（C））研究代表者：木川行央（2009年4月～2012年3月）

<昨年度より継続のプロジェクト>

- ・『文の語用的機能と統語論：日本語の主文現象からの提言』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究（B））研究代表者：長谷川信子、研究分担者：遠藤喜雄（2007年4月～2010年3月）
- ・『語彙とテキスト理解：読解に関わる語彙知識の多面性と語彙の意味について』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究（B））研究代表者：堀場裕紀江、研究分担者：岩本遠億、木川行央（2008年4月～2012年3月）
- ・『早期英語教育教材に見る語彙と文法の特徴：真に「英語が使える日本人」育成に向けて』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究（C））研究代表者：神谷昇、研究分担者：長谷川信子（2008年4月～2011年3月）
- ・『早期英語教育指導者の養成と研修に関する総合的研究』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究（B））研究代表者：小林美代子（2007年4月～2009年9月）
- ・『言語学・応用言語学に基づく、外国語能力の検査、判定、評価法の開発』（独）科学技術振興機構 委託研究領域：「脳科学と教育 タイプ（II）」における「言語の発達・脳の成長・言語教育に関する統合的研究」（研究代表者：萩原裕

子首都大教授)のサブ領域研究として)研究機関代表者:長谷川信子(2004年12月~2009年11月)

以下に平成21年度におけるCLS主催によるワークショップ、コロキウム、研究会をリストしますが、これらは上記研究プロジェクトとの関わりで開催されたものがほとんどです。また、CLSでは研究紀要 *Scientific Approaches to Language* (SAL)を毎年刊行しており、平成21年度末には、第9号が刊行予定です。SAL掲載論文および以下の研究会での発表論文の要旨など、より詳しい活動内容についてはCLSのホームページ<<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/cls/>>を参照して下さい。

平成21年度 言語科学研究センター 研究会

<言語学ワークショップ>

日時:2009年6月22日(月)10:00~12:30

会場:神田外語大学7号館206教室(クリスタルホール)

講師とパネラー:

10:00 - 10:40 <パネル・ディスカッション>

Luigi Rizzi 氏、井上 和子 氏、長谷川 信子 氏、遠藤 喜雄 氏
前日の日本言語学会での公開シンポジウムを受けて

10:50 - 11:40 <基調講演>

Luigi Rizzi 氏 (University of Siena)
Some Consequences of Criterial Freezing

11:40 - 12:40 <研究発表およびディスカッション>

本多 正敏 氏 (神田外語大学)
On the Relationship between Focus Constructions and Factive CPs

遠藤 喜雄 氏 (神田外語大学)

Some Issues on Criterial Freezing

<言語学講演会>

日時：2009年6月22日 (月) 15:10~16:40

会場：神田外語大学7号館206教室 (クリスタルホール)

講演者：Luigi Rizzi 氏 (University of Siena)

演 題：On the Study of Language as a Cognitive Capacity: Results and Perspectives

<言語学コロキウム>

日時：2009年7月14日 (火) 15:15~17:30

会場：神田外語大学2号館2-202教室

発表者：

- ・木津 弥佳 氏 (ロンドン大学 SOAS)
Mixed Chains in Long-distance Dependencies in Japanese
- ・田中 秀和 氏 (ヨーク大学)
Ellipsis and Syntax

<理論言語学ワークショップ『日本語の統語研究の新展開：命題を超えて』>

日時：2009年9月3日 (木) 10:15~17:00

会場：神田外語学院3号館7階 プラザ・アズール

発表者：

- ・長谷川 信子 氏 (神田外語大学)
ワークショップの主旨
CP 領域における主語の一致と省略
- ・遠藤 喜雄 氏 (神田外語大学)
終助詞のカートグラフィー
- ・栞原 和生 氏 (神田外語大学)
日本語疑問文における補文標識の選択と CP 領域の構造

- ・宮川 繁氏 (MIT)
一致素性のある言語とない言語の統合
- ・佐野 まさき氏 (立命館大学)
とりたて詞の素性併合と Agreement
- ・奥 聡氏 (北海道大学)
統語、情報構造、一般認知
- ・富岡 諭氏 (デラウェア大学)
主題の埋め込みと情報構造の再帰性: Embedded Topics and the
Recursivity of Information Structure

<日本語教育研究会『看護師国家試験に合格するための日本語力とは?』>

日時: 2009年11月16日(月) 14:15~15:30

会場: 神田外語大学 3号館3-304教室

発表者:

- ・奥田 尚甲氏 (広島大学 国際協力研究科・博士後期課程)
専門分野における日本語教育のための目標言語調査
—看護師国家試験の語彙の様相を通して—
- ・齋藤 隆氏 (神田外語大学 言語科学研究科・博士前期課程)
外国人看護師が国家試験に合格するために必要な日本語能力
—看護師国家試験問題の分析から—

<言語学ワークショップ『統語と談話のインターフェイス』>

日時: 2010年3月5日(金)10:00~17:00

3月6日(土)10:00~16:30

場所: 神田外語大学 2号館 2-202教室

発表者:

3月5日(金)

- ・遠藤 喜雄氏 (神田外語大学)・井上和子氏 (神田外語大学名誉教授)
ワークショップの全体像(統語と談話を巡って)

- ・ 本多 正敏 氏 (神田外語大学)
統語構造地図に基づく関係代名詞節分析
- ・ 藤巻 一真 氏 (神田外語大学 言語科学研究センター)
ガ格主語の位置と焦点解釈
- ・ 金子 義明 氏 (東北大学)
遂行句 Performative Phrase 内要素としての付加節について
- ・ Ur Shlonsky 氏 (ジュネーブ大学)
Where's Why?
- ・ Anna Cardinaletti 氏 (ベネチア大学)
On the preverbal subject field
- ・ Liliane Haegeman 氏 (アントワープ大学)
Locality and the movement derivation of conditional clauses

3月6日 (土)

- ・ 松尾 章 氏 (神田外語大学 言語科学研究科・修士課程)
テ節の解釈と階層の関係
- ・ 榎原 和生 氏 (神田外語大学)
理由を表す疑問副詞と補文標識の選択について
- ・ 野田 尚史 氏 (大阪府立大学)
日本語の副詞節の階層—主文現象と複文現象の連続性—
- ・ Ur Shlonsky 氏 (ジュネーブ大学)
Null subjects and topicalization
- ・ Anna Cardinaletti 氏 (ベネチア大学)
On modal particles in Romance and Germanic languages
- ・ Liliane Haegeman 氏 (アントワープ大学)
Main clause phenomena in embedded clauses and intervention